

2023(令和5)年度 部局マニフェスト ～私たちの組織使命と目標～

部局名	教育委員会事務局
役 職	事務局長
氏 名	滝川 博美
連絡先	0595-22-9644(内線2510)



業績目標の達成状況
5. 先進的な取り組みを行い、成果があった
4. 達成水準を上回る成果があった
3. 業績目標を達成した
2. 取り組んだが、業績目標を達成しなかった
1. 業績目標に取り組まなかった

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標1	関連の施策・基本事業No. 5-1-① 5-2-②				
人権同和教育の推進	・差別を許さない実践行動ができる人権教育リーダー(人材)の育成	〈現在の状態〉 ・身近にある差別を厳しく見抜き、人権学習を通して自らの意識を変革する人権教育・啓発を推進している。 ・(R4年度社会における差別事象13件、小中学校における差別事象25件) ・外郭団体の活動支援(事務局支援)のあり方について検討を進めている。 ↓ 〈達成目標〉 ・社会及び小中学校における差別事象が前年より減少する。社会における差別事象10件、小中学校における差別事象20件(前年度の20%減) ・外郭団体の事務局事務を当該団体が行うための支援方法について協議が整う。 ※目標が達成した状態 市民の人権尊重の意識や感性が養われる。	・参加しやすい研修の開催 (地域に根差した人権教育推進啓発学習交流会、人権教育推進リーダー育成講座等) ・団体への丁寧な説明と意見交換、協議の場の設定。	2	学校や生涯学習での人権同和教育の取り組みを進めたが3月29日時点で社会における差別事象2件、小中学校における差別事象36件となり昨年度と比較すると増加した。 ・外郭団体の事務局事務の支援方法について協議を継続している。
◎部局目標2	関連の施策・基本事業No. 5-3-①				
子どもたちが未来に夢や希望を持てる学校教育の推進	・地域とともにある学校づくり(マニフェスト)の推進 ・一人ひとりの個性に応じた教育の推進、学力の向上	〈現在の状態〉 ・各学校で「学校マニフェスト」を作成し経営方針や教育内容を公表、説明し学校評価を実施している。 ・一人一台タブレット端末を積極的に活用している。 - また、全国学力・学習状況調査を実施し児童生徒の学力の定着状況を把握している。(全国平均正答率:小学校やや高い、中学校:やや低い) ↓ 〈達成目標〉 ・市民の意見を取り入れて学校改善を行っていると感じている保護者の割合(90%) ・ICT機器を効果的に活用した授業の実施、子どもが理解できる授業の展開。(全国学調平均正答率:全国平均を目標) ※目標が達成した状態 ・地域と学校との連携により地域とともにある学校づくりが図られ充実した教育活動が行われる。	・学校マニフェストの評価の実施、公表により学校改善に活かす。 ・全国学調より学力の定着状況を把握・分析、授業改善 ・各校の授業実践交流と研修の実施	3	・各学校で「学校マニフェスト」を作成し経営方針や教育内容を公表しアンケートを2回行い学校評価を実施した。学校運営協議会委員を対象とした研修会を開催し学校運営への参画を促す機会を設けた。市民の意見を取り入れて学校改善を行っていると感じている保護者の割合は89.6%(アンケート結果)となった。 ・タブレット端末を積極的に活用し授業と家庭学習を繋げる効果的なICT活用の取り組みを行い、指定校による研究発表を行った。全国学力・学習状況調査では、全国平均正答率と比べ小学生は高かったが、中学生は低い結果となった。このため児童生徒の学力の定着に引き続き取り組む。

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標3	関連の施策・基本事業No 5-3-②				
子どもたちが未来に夢や希望を持てる学校教育の推進	・特別支援教育の充実	〈現在の状態〉 ・特別な支援を必要とする児童生徒が増加傾向にある。 ・特別支援教育コーディネーター対象の研修を開催している。(研修受講者の満足度 とても満足 61.1%) ↓ 〈達成目標〉 ・児童生徒のニーズにあった支援を行う。(研修受講者の満足度 とても満足70.0%) ※目標が達成した状態 ・特別支援教育についての正しい知識、合理的配慮を踏まえた適切な指導や支援が行なわれる。教員の資質向上が図れる。	・特別支援教育コーディネーター対象の連続講座(4回)の実施 ・「個別の指導計画」「個別的教育支援計画」作成の支援と充実	▶ 3	・特別支援教育コーディネーター対象の連続講座を4回実施した。(研修受講者の満足度 とても満足64.8%) ・「個別の指導計画」「個別的教育支援計画」の作成の支援と充実に努めた。
◎部局目標4	関連の施策・基本事業No 5-4-①				
子どもたちが安心して学べる教育環境の充実	新たな校区再編計画の策定	〈現在の状態〉 ・平成21年5月策定の「伊賀市における校区再編の取組みについて」に基づく校区再編が終了した。 ・児童生徒の減少がさらに進んでいる。 ↓ 〈達成目標〉 ・教育委員会での素案の作成。 ・新たな校区再編計画策定委員会が立ち上がる。 ※目標が達成した状態 様々な意見を聴取する場の設定が整う。	・アンケートの分析を行う。	▶ 3	・伊賀市学校みらい構想検討委員会を設置し、校区再編計画の策定について諮問した。今年度2回の委員会を開催した。 ・素案の作成にあたりアンケート結果を参考に現状を分析し、必要な資料を作成した。

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標5	関連の施策・基本事業No. 5-3-② 5-4-①	〈現在の状態〉 ・経済的支援が必要と思われる世帯に対し申請件数が少なく支援が行き届いていない。(R4年度高校生新規申請件数22件) ・伊賀市奨学金、同和奨学金、ササユリ奨学金の3種類の奨学金制度がある。 ↓ 〈達成目標〉 ・申請件数が増え支援が届く。 - 対象者の32%(高校生申請件数:(前年度に認定された件数41+新規申請件数44)/265件 但し分母はR4時点) ・奨学金制度の統合(伊賀市奨学金と同和奨学金)を決定する。 ※目標が達成した状態 ・経済的に必要な世帯に支援が行き届き、高等及び中等(後期)教育機関での就学が出来る。	・受付期間や保護者への周知方法の見直し ・同和奨学金支給選考委員会での協議	▶ 3	・受付期間(再募集)や保護者への周知方法を見直したことにより高校生申請件数が前年度と比べ増加した。(対象者の43.5%(前年度に認定された件数43+新規申請件数57)/230件) ・伊賀市奨学金と同和奨学金を廃止し、新たな奨学金制度の設置に関し方向性を決定した。
◎部局目標6	関連の施策・基本事業No. 5-4-②	〈現在の状態〉 大山田中学校及び青山中学校(設計)の大規模改造、崇広中(トイレ改修)、緑ヶ丘中(空調)の施設改修工事等を実施する。 ↓ 〈達成目標〉 ・計画的な実施(進捗率100%) ・長寿命化計画実施計画の前期見直し及び後期計画が策定できる。 ※目標が達成した状態 教育環境が整い安心・安全に学校生活がおくれる。	・工事進捗状況を随時確認し、計画的に進める。	▶ 3	・大山田中学校、青山中学校等大規模改造及び施設改修工事等について計画的に実施した。(進捗率100%) ・長寿命化計画実施計画の前期見直し及び後期計画を策定し次年度の予算要求へ反映した。

組織使命	組織使命達成に向けての目標	目標の達成水準	目標を達成するための手段	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標7	関連の施策・基本事業No 5-4-①	〈現在の状態〉 ・給食の無償化を開始し、食育の推進や保護者の子育て支援をしている。(R4児童生徒の朝食欠食率 中学校3年生10.1%、小学校6年生7.3%) ・すべての学校で「食に関する指導の全体計画」を策定している。R4地場産物の使用(金額ベース70.2%) ・給食センター夢の厨房設備が老朽化している。 ↓ 〈達成目標〉 ・児童生徒の朝食欠食率(中学校3年生7.5%、小学校6年生6.0%) ・学校給食に地場産物を使用する割合(金額ベース70%) ・給食センター夢の整備についてPFI事業も視野に入れた検討を進め方向性を決定する。 ※目標が達成した状態 家庭においても食育への関心が深まり朝食欠食率が下がる。 心身ともに健全な身体づくりにつながる。	・価格の調整を行いながら積極的に地場産物を使用する。 ・食育に関するパンフレットや通信等を活用し食育を推進する。 ・「PPP/PFI専門家派遣制度」を活用する。	3	・給食の無償化を開始し食育の推進、家庭支援に繋げた。 ・児童生徒の朝食欠食率(中学校3年生10.6%、小学校6年生7.0%) ・学校給食に地場産物を使用する割合(金額ベース63.1%) (※特定月割合から年間平均割合に指標の取り方を変更) ・給食センター夢の整備についてPFI事業も視野に入れた検討を行い、長寿命化に向けた整備を行うことの方角性を決定した。
◎部局目標8	関連の施策・基本事業No 5-5-①	〈現在の状態〉 ・社会教育指導員及び自治協単位へ配置した生涯学習支援員が地域の特性に応じた生涯学習活動の支援に努めている。(生涯学習支援員の活動が効果的であったと感じる自治協84%) ・成人式実行委員会メンバーへの参画が少ない。 ↓ 〈達成目標〉 ・社会教育指導員研修3回 ・生涯学習支援員研修10回 ・生涯学習支援の活動が効果的であったと感じる自治協90%以上 ・成人式参加率 80% ※目標が達成した状態 ・地域の特性に応じた生涯学習活動が行われる。 ・18歳で成人となることの意識付けができる。	・生涯学習支援委員、社会教育指導員対象のスキルアップ研修の実施。 ・成人式実行委員会メンバーによる実施内容の検討と式典のPR(実行委員募集のダイレクトメールなど)	3	・社会教育指導員及び自治協単位へ配置した生涯学習支援員が地域の特性に応じた生涯学習活動の支援に努めた。 ・社会教育指導員研修3回、生涯学習支援員研修10回 ・生涯学習支援の活動についてのアンケートは未実施である。 ・成人式参加率79.4%

組織使命	組織使命達成に向けての目標		目標の達成水準	目標を達成するための手段	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標9	関連の施策・基本事業No	5-5-② 5-5-③				
「学び、創造、憩いの 広場」として活用され る図書館づくり	魅力ある図書館づくり		〈現在の状態〉 ・にぎわい忍者回廊事業の事業者による設計が進んでいる。市民向けのワークショップ等開催を予定している。 ・図書室の再編の取組みを進めている。 ↓ 〈達成目標〉 ・図書館整備が事業者により実施設計が完了し改修工事に着手する。 ・いがまち図書室の移転が完了し新たな場所での図書サービスを開始している。 ※目標が達成した状態 ・市民が学び、心が憩う場所の整備の進捗が図られる。 ・北部地域の図書サービスが継続している。	・事業者によるワークショップの意見の配慮。 ・事業者との適切な打ち合わせにより進捗管理を行う。	▶ 3	にぎわい忍者回廊事業による図書館整備について、事業者にはワークショップの意見を可能な限り反映した実施設計を完了させ、改修工事に着手することが出来た。 ・SHINDO YARDSIにいがまち図書室を移転し図書サービスを開始した。
◎部局目標10	関連の施策・基本事業No	6-4-① 6-4-②				
文化財の保存・継承	計画的な文化財の保存・継承		〈現在の状態〉 文化財所有者や国、県との協議検討を重ねて事業を進めている。(伊賀市文化財保存活用地域計画を策定中) ↓ 〈達成目標〉 ・町井家住宅、観音提寺木造多聞天立像の保存修理事業が計画通りに進捗する。(進捗率100%) ・ユネスコ登録となった勝手神社の神事踊等の継承支援を行う。 ※目標が達成した状態 文化財を将来へ継承することが出来る。	・専門家等の意見の聴取 ・進捗状況の把握 ・継承にかかる補助金の交付	▶ 3	・町井家住宅、観音提寺木造多聞天立像の保存修理事業が計画通りに進捗した。(進捗率100%) ・ユネスコ登録となった勝手神社の神事踊等の継承を支援するため、用具の修繕に対する補助金を交付した。

組織使命	組織使命達成に向けての目標		目標の達成水準	目標を達成するための手段	達成状況 (自己評価)	理由
◎部局目標11	関連の施策・基本事業No.	6-4-③ 6-4-④				
文化財の保存・活用	地域の歴史や文化財の魅力の発信	〈現在の状態〉 企画展や講演会の実施により、地域の歴史や文化財に対する関心が深まっている。 ・市が所有する文化財資料など適切な保管が出来ていない。 ↓ 〈達成目標〉 ・市が所有する文化財資料等を適切に保管、活用するための美術博物館建設の基本的な考え方が整理されている。 ・地域の歴史や文化財に関するパンフレットを作成する。 ※目標が達成した状態 発信された情報をもとに、地域及び観光客が伊賀市の歴史文化に興味関心を持ち、市民のシビックプライドの醸成や交流人口が増加する	・美術博物館建設準備委員会では、文化財課の視点が反映されるよう調整する。 ・指定管理者による企画展等のPR ・地域計画の取り組み成果として地域住民を対象としたパンフレットの作成。観光客向けにも活用できるものを検討する。	▶	3	・美術博物館の基本構想に市の所管する資料の保存活用にかかる視点を反映して策定に取り組んだ。 ・文化財保存修理事業や歴史的風致維持向上計画に合わせパンフレットを作成した。
◎部局目標12	関連の施策・基本事業No.	5-5-④				
青少年健全育成の推進	子どもや若者が健やかに成長する	〈現在の状態〉 青少年に対する街頭指導や相談活動を実施している。 放課後子ども教室等、地域活動ではボランティアスタッフが高齢化している。 ↓ 〈達成目標〉 ・放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携方策の決定。 ※目標が達成した状態 ・放課後等を安全・安心に過ごせ、多様な体験・活動が行える。	・放課後子ども教室と放課後児童クラブの関係者からヒアリング等を行い連携方策を検討するための会議を開催する。 ・関係機関との連携	▶	2	・放課後子ども教室と放課後児童クラブの連携についての取り組みを検討した。